

多方面で活躍する卒業生

就 農



島田 晃汰

令和5年度 農学科卒
(千葉県立安房拓心高校 出身)

私は農業大学校を卒業後、家業を継いで就農しました。

経営を展開する館山市は温暖な気候で真冬でも霜が降りず、レタスやナバナ、切り花などが特産品として有名な地域です。

私の家でも水稻と、地域特産の露地野菜を栽培してきましたが、労力配分や収益性を考慮し「長ネギ」の導入拡大を図りつつあります。

学校で学んだ知識を生かし、温暖な館山市のブランド品を作りたいと思い、日々研鑽に励んでいます。



錦織 主騎

令和5年度 研究科卒
(千葉県立佐倉東高校 出身)

私は農業大学校に入学した時は、農業についての知識は全くありませんでしたが、農学科、研究科を通して農業だけでなく、多くのことを学ぶことが出来ました。私は在学中、作物専攻に所属しており、農学科では水稻、研究科では自然薯について研究しました。卒業後は研究を活かして、自然薯を経営品目として新規就農しました。知らない土地での就農なので困難もありますが、自分らしい農業が出来たらいいと思います。



谷嶋 祐輝

令和5年度 研究科卒
(千葉県立白井高校 出身)

私は農業大学校卒業後に親元就農し、実家のいちご農園を継ぎました。今まで育ててくれた親にもっと楽してほしいと思い家業を継ぐことを決めました。

在学中は施設野菜専攻に所属し、4年間を通していちごの研究に取り組みました。

農業大学校では、農業の知識、技術はもちろん卒業後の農業従事者とのつながりを作ることができ、今後の自分の武器になると思います。



富永 真央

令和5年度 農学科卒
(東京都立園芸高校 出身)

私は現在、東京都にある株式会社ユニバーサル園芸社で働いています。オフィス内の植栽管理を行い、植物を使って会社員の方々に癒しを届けています。農業大学校では、花き園芸専攻教室に所属し、切り花を中心に草花の生産、加工技術を学びました。講義や実習では、様々なことに挑戦することができ、沢山の技術や知識を身につけることが出来ました。他にも自発的に動き、寮生活や農家バイトなど沢山の経験を積むことができて、充実した学生生活を送れました。



中村 僚一

令和5年度 研究科卒
(千葉県立流山高校 出身)

私は卒業後、農家の役に立ちたいと考え株式会社関東甲信フボタに就職しました。もともと機械類に興味があり、日頃から農業機械が労力不足を補えると考えていました。「適正かつ効率的な農業機械導入」を信条に、農家との架け橋となれればと考えています。現在、油まみれになりながらも弊社での研修を終え、営業所へ配属されるところです。今後は、農業大学校で学んだ「地域に根差した農業」を忘れない千葉県農業の発展に尽くしていきたいと思っています。



鈴木 啓太

令和5年度 研究科卒
(千葉県立富里高校 出身)

私は農業大学校を卒業後、株式会社アグリ総研に就職しました。先輩方や上司に指導していただきながら、送粉昆虫であるマルハナバチの生産を行っています。在学時は、病害虫専攻教室に所属しており、オオメカメムシという害虫を捕食するカメムシの研究を行っていました。そこでは様々な益虫や害虫についての研究を専攻室内の仲間達や先生方と協力して取り組んでおり、令和5年度みどり戦略学生チャレンジでは、皆と協力し合い、グランプリ賞を受賞し、貴重な体験をすることができました。



及川 良志

令和5年度 研究科卒
(二松学舎大学附属柏高校 出身)

公益財団法人日本植物調節剤研究協会で、除草剤の薬効・薬害・残留試験に関する圃場管理、試験補助をしています。在学中は作物専攻教室に所属し、落花生の研究を行うと共に、農業機械・器具の扱い方を学びました。また、研究科ではさらに実践的な農業を学びながら、学生が運営する模擬会社にて生産部長を務め多品目の栽培管理とリーダーシップ性を身に付けることができました。先生方や友人達と切磋琢磨できたことで、誇れる自分自身を確立できたことをとても感謝しています。

公 務 員



永野 就太郎

令和5年度 農学科卒
(第一学院高校 出身)

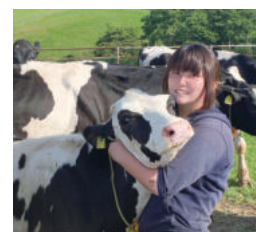
私は非農家の出身で、農業大学校に入学するまで農業について全く知りませんでした。そんな私でも、在学中に所属していた土壌肥料専攻教室での実習を通じて、野菜作りにとって大切な土作りや肥料の取り扱いなどを中心に、農業の基礎知識や栽培技術を身に付けることが出来ました。卒業後は旭市の有限会社かまやに就職し、在学時に身に付けた知識・技術を活かしたサンチュの水耕栽培管理に携わっています。



原 然理

令和5年度 農学科卒
(神奈川県立中央農業高校 出身)

私は農業大学校を卒業後、農業派遣実習でお世話になった有限会社ジェリービーンズに就職しました。現在は哺乳子豚と母豚の管理に携わっています。在学中は畜産専攻に所属しており、養豚の基礎的な知識だけでなく、豚の人工授精、出産などの経験を通し、命を扱う大変さや嬉しさを学び、それが今でも役立っています。また学生寮で過ごした友人達との日々も私にとってかけがえのないものです。千葉県の養豚業界をより一層盛り上げていけるよう日々精進していきます。



藤田 実季

令和5年度 農学科卒
(千葉県立茂原樟陽高校 出身)

畜産技術員として千葉県畜産総合研究センター市原乳牛研究所に勤務しています。乳牛の基本的な知識だけでなく、繁殖管理や機械の操作、牛舎等の施設・設備の修繕など、幅広い仕事をこなしていく必要があり、毎日が勉強の日々です。高校から畜産一筋で勉強をしてきましたが、働き始めると足りない部分もあり、学生の時から培ってきた知識を活用しながら仕事に取り組んでいます。

将来何がしたいかで思い悩んだ時期もありましたが、今の私がいるのは、2年間苦楽を共にしてきた専攻のメンバーと先生方がいたからだ心から実感しています。



川嶋 佑陽

令和5年度 研究科卒
(千葉県立佐原高校 出身)

千葉県印旛農業事務所に勤務し、普及技術員としてナシ、ブドウなどの果樹を担当しています。在学中は情報経営専攻教室に所属し、サツマイモ栽培に関する研究に取り組んでいました。また研究科では千葉農大商店模擬会社の社長を務め、生徒主体で模擬会社を運営するといった農業大学校でしかできない様々な経験をすることができました。

現在は果樹という初体験の分野で勉強の毎日ですが、立派な普及指導員になれるよう頑張ります。